

高画質

ニコンDXフォーマット最高レベルの高画質を実現する、高性能画像処理エンジン EXPEED 5【NEW】

優れた演算能力を発揮する、D500と同じ画像処理エンジンEXPEED 5を採用しています。ニコンDXフォーマットCMOSセンサーから読み出されたデータを高速で処理することで、最高約8コマ/秒の高速連続撮影や4K UHD (3840×2160) /30p動画を実現。高感度時にも効果的にノイズを低減するため、細部まで鮮鋭感のある描写を得られます。繊細な階調も、静止画、動画を問わずなめらかに再現できます。





・レンズ：AF-S DX NIKKOR 16-80mm f/2.8-4E ED VR・撮影モード：マニュアル、1/250秒、f/8・ホワイトバランス：オート1・ISO 感度：200・ピクチャーコントロール：オート

© Scott A. Woodward



© Scott A. Woodward

＞ [拡大画像はこちら](#)



© Scott A. Woodward

静止画や動画の撮影領域を大きく広げる常用感度 ISO 100～51200【NEW】

高性能画像処理エンジンEXPEED 5とCMOSセンサーの連携により、常用感度がISO 100～51200へと拡張。高感度域のノイズ低減も向上し、従来では撮影の難しかった暗さでも、ノイズが少なく鮮鋭な描写を実現します。さらにLo 1（ISO 50相当）までの減感、Hi 5（ISO 1640000相当）までの増感が可能。光の少ない環境下にも対応する高性能な測光やAF性能と相まって、より多彩なシーンでの撮影を可能としています。



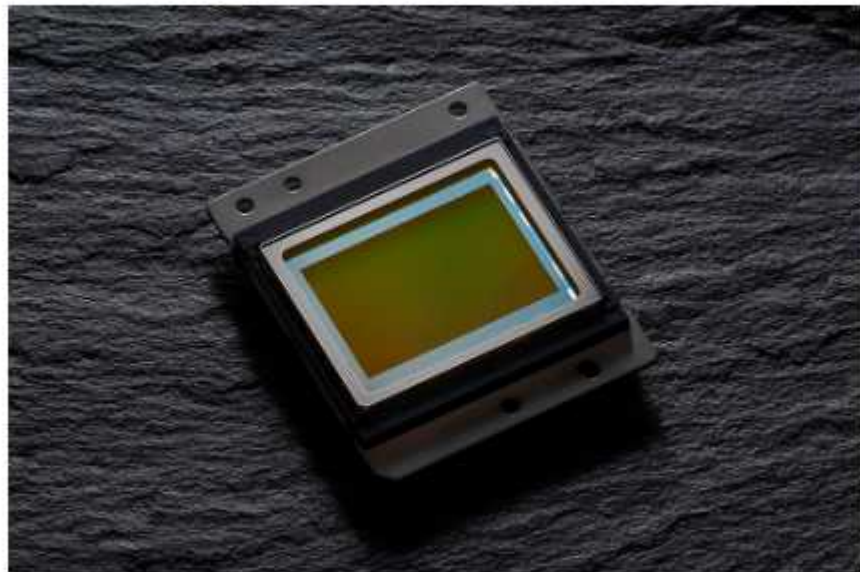
ISO 3200で撮影

© Hideyuki Motegi

> [拡大画像はこちら](#)

高感度でも解像感を保ちながらノイズを低減するニコンDXフォーマットCMOSセンサー【NEW】

ニコンDXフォーマットのフラッグシップモデルD500と同じ撮像素子を搭載しています。有効画素数は2088万画素。解像感を維持しながら、最適なバランスでノイズ低減を行うため、高感度でも卓越した描写力を発揮します。さらに、光学ローパスフィルターレス仕様による解像力とNIKKORレンズの圧倒的な光学性能との相乗効果により、すみずみまで鮮鋭な画像を実現します。



高画質を支える4つのテクノロジー

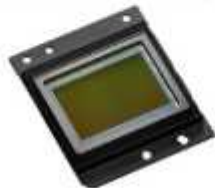
優れた光学性能を誇り、D7500の解像力を余すところなく引き出す種類豊富な高性能交換レンズNIKKOR。高い解像感をもたらす光学ローパスフィルターレス仕様のニコンDXフォーマットCMOSセンサー（有効画素数2088万画素）。優れた高感度性能、高速・高精度な画像処理を実現する高性能画像処理エンジンEXPEED 5。そして、よりの確に撮影者の表現意図を画づくりに反映できる、最新の「ピクチャーコントロールシステム」。これら4つのテクノロジーが結び付き、それぞれの力を存分に発揮することで、D7500の高画質を提供します。

ニッコールレンズ

NIKKOR



有効画素2088万画素
CMOSセンサー



画像処理エンジン
EXPEED 5



ピクチャー
コントロールシステム



PICTURE
CONTROL

ライブビューで、ホワイトバランスのプリセットが可能なスポットホワイトバランス

ライブビュー時には被写体の一部分を選ぶことで、ホワイトバランスのプリセットマニュアルデータを簡単に取得できる「スポットホワイトバランス」を搭載。ライブビュー画面に映るさまざまな被写体の中から、特定の被写体や部位にピンポイントでホワイトバランスを合わせることができます。画像モニターに表示されるプリセットマニュアルデータ取得用の枠は、タッチ操作で移動可能。グレーカード等を使用する必要がなく、近づけない被写体のデータもすばやく取得でき、シャッターチャンス逃すことなくホワイトバランスをプリセットできます。種類の異なる光が混在するスタジアムや室内でのスポーツ撮影などにも便利です。



スポットホワイトバランス設定画面

□：プリセットマニュアルデータ取得用の枠

見た目に近い明るさを再現するアクティブD-ライティング

逆光時の撮影等で、空のグラデーションなどのハイライト部とシャドウ部の輝度差の大きい場合でも、白とび、黒つぶれの両方をおさえながら適度なコントラストを保ち、見た目に近い明るさを再現するアクティブD-ライティング。効果の度合いを高くしても色相がずれることなく、優れた色再現性を維持します。HDRと異なり画像合成のプロセスを伴わないアクティブD-ライティングは、人物などの動きのある被写体にも有効です。

● 動画の画像サイズを3840×2160に設定している場合、動画撮影時のアクティブD-ライティングは機能しません。



アクティブD-ライティング「しない」



アクティブD-ライティング「より強め」

より輝度差の激しいシーンに対応するHDR（ハイダイナミックレンジ）

1回のレリーズで露出が異なる画像を2コマ撮影し、これを瞬時に自動合成。この一連の自動処理により、よりダイナミックレンジの広い画像を生成します。明暗差が激しいシーンなどで、シャドウ部からハイライト部までノイズが少なく階調豊かな画像が得られます。明暗差の激しい風景や静物など、動きの少ない被写体に効果的です。

- HDRでの撮影には三脚のご使用をおすすめします。



HDR「OFF」



HDR「標準」



HDR強度「より強め」

捕捉力

14ビットロスレス圧縮RAWでも、最高約8コマ/秒で50コマまでの高速連続撮影【NEW】

撮像素子からのデータの高速読み出しと高性能画像処理エンジンEXPEED 5による高速処理により、最高約8コマ/秒※1の高速連続撮影を実現しています。さらに、バッファメモリーを大容量化し、14ビット記録のロスレス圧縮RAWでも50コマ、JPEG（画質モード：FINE、画像サイズ：L）で100コマまで連続撮影が可能※2。ガラスペンタプリズムを使用した視野率約100%の明るくタイムラグのない光学ファインダーと相まって、被写体をもっとも輝く瞬間をより確実に捉えます。

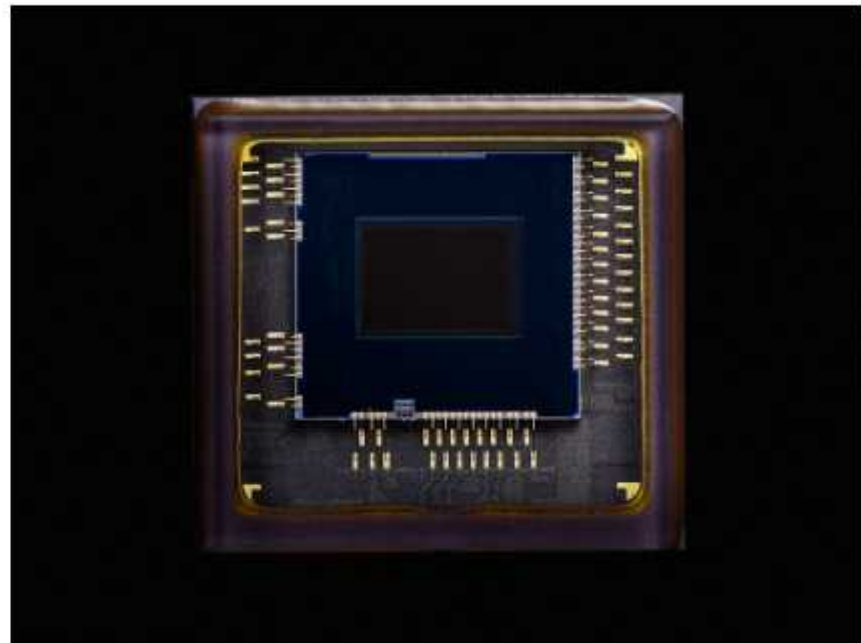
※1 AFモードがAF-C、撮影モードがS（シャッター優先オート）またはM（マニュアル）、1/250秒以上の高速シャッタースピード、その他が初期設定時。

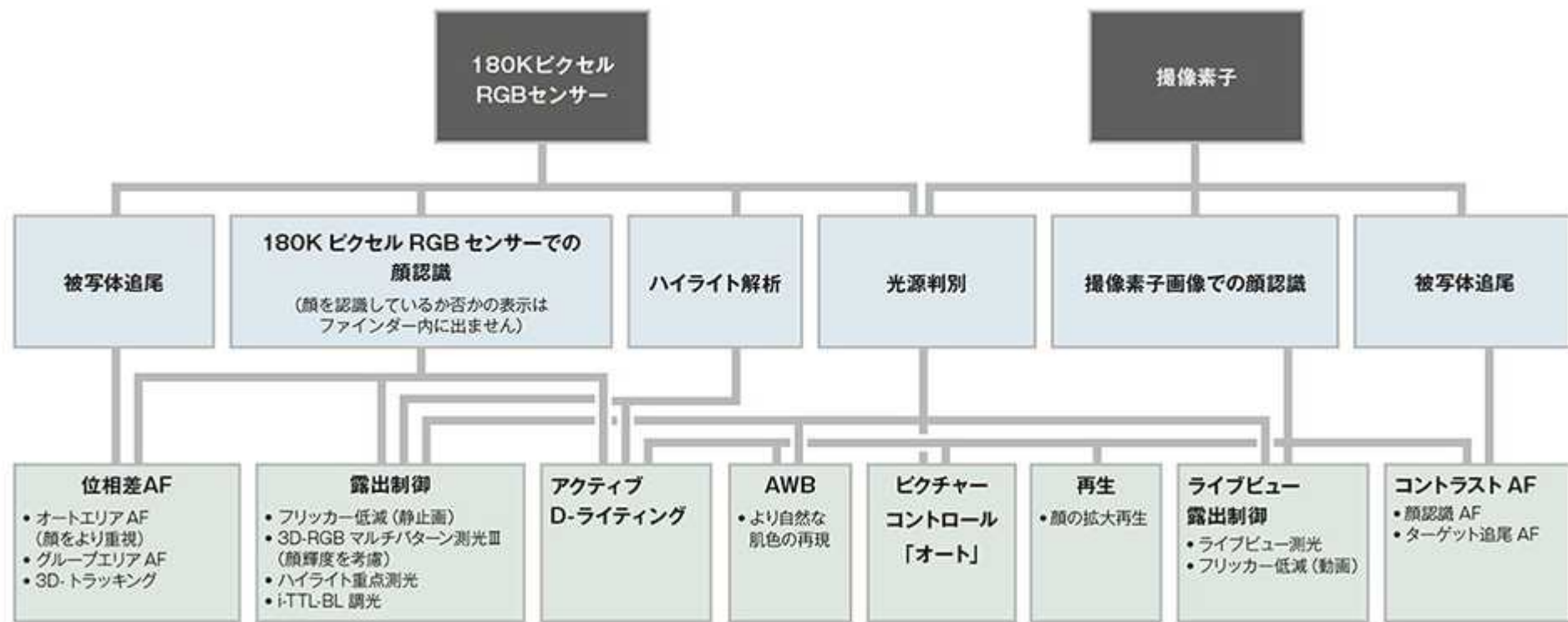
※2 SanDisk製16GBのSDHC UHS-Iカード（SDSDXPA-016G-J35）を使用し、ISO感度がISO 100の場合。



高精度なAF・AE性能を実現するキーデバイス、180KピクセルRGBセンサー【NEW】

D500の測光センサーである180KピクセルRGBセンサー（約180,000ピクセル）が、アドバンストシーン認識システムの性能を向上。膨大な画素で得た撮影シーンの情報を連携させて、AFやAE、オートホワイトバランスなどの自動制御機能の精度を高めています。





被写体捕捉性能をさらに強化した高性能51点AFシステム

アドバンスマルチCAM3500IIオートフォーカスセンサーモジュールを採用した51点AFシステムが、180KピクセルRGBセンサーとの連携で、さらに優れたAF性能を発揮。D500で好評のグループエリアAFにより、5点のフォーカスポイント（選択した1点とその上下左右の各1点）で被写体を面で捉え、動きを予測しにくい被写体をより確実に捕捉できます。オートエリアAFでのファインダー撮影時には、さらに人物の顔を重視したAF制御で、遠くの小さな顔や動いている被写体の表情を捉えるのも容易です。

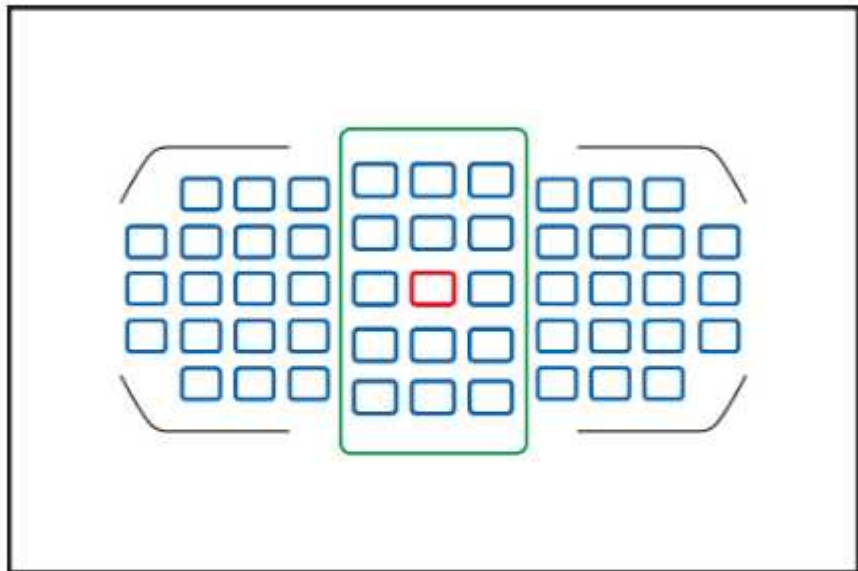


グループエリアAFで撮影

© Scott A. Woodward

光の少ないシーンでも、より確実なAFを実現

中央1点は-3EV環境下でもAFが可能。残りの50点も低輝度限界で-2EV～-3EVを達成しており、屋内の暗いシーンやコントラストの低い被写体でも卓越したAF性能を発揮します。使用頻度の高い中央部15点には捕捉性能の高いクロスタイプセンサーを採用。さらに、51点すべてのフォーカスポイントがf/5.6に対応するだけでなく、中央の1点はf/8に対応し、テレコンバーター装着時も確実なAFが可能です。



-  -3EV対応のフォーカスポイント
-  -2EV～-3EV未満対応のフォーカスポイント
-  クロスタイプセンサー

被写体に合わせて選べるAFエリアモード

■ シングルポイントAF

選んだフォーカスポイント1点だけを使ってピント合わせをします。風景やポートレートなど、静止している被写体の特定の部分に厳密にピントを合わせたい場合に適しています。ポートレート撮影で人物の目にピントを合わせたいときなどに便利です。



シングルポイントAF

ダイナミックAF

動く被写体の撮影に適しています。選択した1つのフォーカスポイントから被写体が一時的に外れても、周辺のフォーカスポイントからのピント情報を利用してピント合わせを実行。ピント合わせに使用するフォーカスポイントの数は、被写体の動きとその予測のしやすさなどに応じて、[9点]、[21点]、[51点] から選べます。いずれも選択されているフォーカスポイントとその周辺のポイントを使って被写体を面で捉え、AFモードのAF-C [コンティニュアスAFサーボ] との組み合わせで、動く被写体に的確にピントを合わせます。

9点	構図を決めて撮影するときや、被写体の動く方向が予測でき、フォーカスポイントで被写体を捉えやすいときに。 例：陸上競技やモータースポーツ
21点	被写体の動きがランダムで予測しにくいときに。 例：フィールドスポーツ
51点	被写体の動きが速く、かつランダムで予測しにくく、選択したフォーカスポイントで被写体を捉えにくいときに。 例：野鳥撮影

3D-トラッキング

選んだフォーカスポイントで被写体にピントを合わせると、シャッターボタンを半押ししている間は被写体の動きや構図の変更に合わせて、51点すべてを用いてカメラがフォーカスポイントを自動的に切り換え、被写体を捕捉し続けます。このため、画面内を上下左右に動く被写体をより自由な構図で容易に撮影できます。180KピクセルRGBセンサーによるシーン認識システムの働きで高い被写体追尾性能を発揮します。

グループエリアAF [NEW]

選んだフォーカスポイントを中心に周囲の複数のフォーカスポイントをグループ化し、面で被写体を捉えるため、誤って背景にピントが合ってしまうのを防げます。そのため、1点では捉えにくい動きの激しい被写体も、より容易に捉えられます。AFモードがAF-SまたはAF-Aに設定していてAF-Sに切り換わったときは、人物の顔を認識すると優先して顔にピントを合わせます。



オートエリアAF

カメラが自動的に51点すべてのフォーカスポイントから主要被写体を判別してピントを合わせます。

選べる2つの静止画用撮像範囲

レンズを交換しなくても、1.3×の撮像範囲で被写体をさらに大きく捉えることができます。DXフォーマット時は23.5×15.7mmの撮像範囲で画像を記録。1.3×時は [DX] 時のさらに約1.3倍相当、装着レンズの焦点距離の約2倍相当の画角※になります。遠くの被写体をグッと引き寄せて撮影でき、51点のAFポイントが撮像範囲を広くカバーします。動画撮影時にも便利です。

※ 35mm判換算。



DX フォーマットの撮像範囲

1.3×の撮像範囲

レンズとの微差調整が簡単にできるAF微調節の自動設定【NEW】

ファインダー撮影時に、厳密なピント合わせを行うのに有効なAF微調節の自動設定が可能。静止画ライブビューを使ってレンズの機種ごとに簡単に調整値を設定、登録できます。最大20種類のレンズを登録できます※。

※ 非CPUレンズは登録できません。

つなぎ目の目立たない光跡写真の素材が撮れるコマ数無制限の連続撮影

レリーズモードがCH、CLのとき、シャッタースピードを4秒以上の長秒時に設定すると、メモリーカードの容量やバッテリー残量の許す限り長時間にわたって、どの画質モードでも連続撮影を継続できます。インターバルタイマー撮影と異なり、次のコマの撮影がすぐ行われるため、比較明合成を行った際、つなぎ目が目立たない滑らかな光跡を表現できます。

● 画像を結合して光跡を表現するには、他社製ソフトウェアが必要です。

撮像範囲をくまなく確認できる視野率約100%の光学ファインダー

視野率約100%（DX時）を確保しながら、より明るく正確な色味の像を実現。ファインダー内表示（撮像範囲下の情報表示部）には、高輝度、高コントラスト、低消費電力を実現する有機EL表示素子を採用しており、屋外の強い逆光下でも高い視認性を維持します。



高い機動力と信頼性

操作性を向上するタッチパネル採用のチルト式3.2型画像モニター【NEW】

画像モニターには、操作性に優れたタッチパネルを採用しています。タッチAFやタッチシャッター（静止画撮影時）をはじめ、再生時に高速で画像を切り換えられるフレームアドバンスバーや、メニュー設定、文字入力などの操作が可能。さらにチルト機構が静止画・動画撮影時の撮影アングルの自由度を拡大します。また、撮影画像を見ながら、モニターの色調をカスタマイズすることもできます。



さらに高い機動力を発揮するホールド性の高い軽量・薄型ボディー【NEW】

ボディーには高剛性炭素繊維複合材料を用いたモノコック構造を採用し、質量約720g※の軽量化を達成しています。さらに、ボディーの薄型化によって実現した深いグリップで、ホールド性を一段と向上。DXフォーマットならではの機動力を活かして、日常から旅行先まで、さまざまなシーンで気軽に手持ち撮影を楽しめます。

※ バッテリーおよびSDメモリーカードを含む、ボディーキャップを除く。



フィールドでの撮影を強力にサポートする防塵・防滴ボディー

カメラボディーの接合部に施した複合的なシーリングによる高い防塵・防滴性能が、さまざまなフィールドへの携行を可能とし、アクティブな撮影をサポートします。



© Scott A. Woodward



アイセンサーによるインフォ画面の自動消灯【NEW】

アイセンサー付きのファインダーの搭載により、ファインダーを覗くだけで、画像モニターのインフォ画面が自動消灯※。ファインダーから顔を離すとインフォ画面が再点灯するため、設定変更をスムーズに行えます。

※ 撮影時、半押しタイマーがオンのとき。

15万回のリリーステストをクリアした高耐久・高精度シャッターユニット

シャッターユニットは、カメラに実装した状態で15万回のリリーステストをクリア。高い耐久性を実現しています。シャッタースピードは1/8000秒から30秒。リリースモードがMup（ミラーアップ撮影）時には、メカニカル先幕を電子先幕シャッターに切り換えて機構ブレを抑制可能。ミラー振動のないライブビュー撮影と組み合わせれば、風景の望遠撮影時にも細部まで鮮鋭に描写できます。また、シャッターをきるたびに先幕走行から後幕走行までの所要時間を計測して誤差を自動補正する、シャッターモニター機能を内蔵しています。



撮影への集中力を妨げない低消費電力設計・長寿命バッテリー

電源回路を効率化した省電力設計の高性能画像処理エンジンEXPEED 5などにより、バッテリーの消費電力を低減。付属のLi-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL15aを、1回の充電で静止画を約950コマ（1コマ撮影モード時）※、動画を約80分※撮影できます。

※ CIPA規格準拠。

> 詳しくはこちら



【NEW】 Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL15a（付属）

ワークフローの効率が飛躍的にアップ、RAW画像のカメラ内一括現像【NEW】

インターバルタイマー撮影などで撮影した膨大なコマ数のRAW画像を、カメラ内で一括現像できます。ホワイトバランスやピクチャーコントロール、高感度ノイズ低減、ヴィネットコントロール、アクティブD-ライティングなどを、撮影時の設定で現像することも可能。撮影後のパソコンによる編集時間を大幅に短縮できます。



カラーカスタマイズ可能な画像モニター

画像モニターは、3.2型、約92.2万ドットと大サイズ。視野角約170°を確保しており、明るい日中の屋外や厳しいアングルからの撮影時などで優れた視認性を発揮します。メニュー操作で画像モニターの色調をカスタマイズすることもできます。



使用頻度の高い設定項目にすばやくアクセスできる*i*（アイ）ボタン

メニュー画面を呼び出さなくても*i*（アイ）ボタンを押すだけで、ファインダー撮影、静止画ライブビュー、動画ライブビュー時に、使用頻度の高い設定項目へダイレクトにアクセス可能。再生時には静止画や動画の編集メニュー表示のほか、動画の音量調節、スマートフォンへ送る静止画の指定も行えます。



ニコンクリエイティブライティングシステム対応、コマンダー機能搭載の内蔵フラッシュ

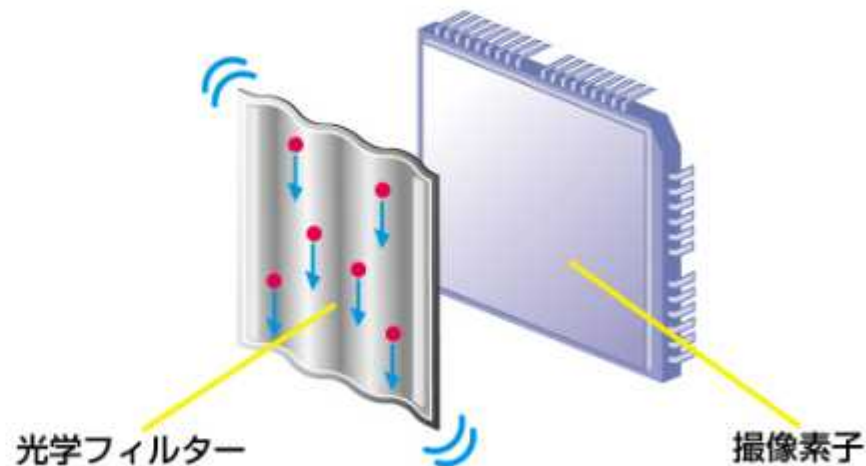
暗い室内や夜景ポートレート撮影時に便利な、i-TTL調光対応のポップアップ式内蔵フラッシュを搭載しています。ガイドナンバーは約12 (ISO 100・m、20°C)、広角16mmの画角をカバー。180KピクセルRGBセンサーのシーン解析情報を活かし、発光量を最適に制御します。内蔵フラッシュを主灯/コマンダーとして、2グループまでの対応のリモートフラッシュをワイヤレスで光制御するアドバンスドワイヤレスライティングも可能です。また、別売のワイヤレスリモートコントローラー WR-R10を装着すれば、スピードライト SB-5000 (別売) を電波制御できます。

▶ [電波制御によるリモートフラッシュについてはこちら](#)



撮像素子に付着したゴミやほこりをふるい落とすイメージセンサークリーニング機能

徹底した試験を繰り返すことで実現した、高度な要求に応える総合的なダスト低減対策。光学フィルターを4種類の周波数で振動させ、付着したゴミやほこりをふるい落とします。カメラの電源ON/OFFに自動的に作動できるように設定できるほか、メニューからの操作で随時、任意に作動させることも可能。ニコンでは、このほかにも、組み立て時にカメラを十分に作動させることで使用時のメカダストの発生を抑えたり、クリーニングキットでゴミやほこりの軽減、除去を可能にするなど、複合的な対策を行っています。



作品性を高める機能

光に照らされた被写体を美しく描写できるハイライト重点測光【NEW】

マルチパターン測光、中央部重点測光、スポット測光に加え、D500と同じくハイライト重点測光を搭載しています。ハイライト重点測光は、画面の最も明るい領域を重点的に測光して、ハイライト部の白とびを効果的に抑制。スポットライトの当たる舞台をはじめ、明暗差の大きい木漏れ日の中での撮影シーンなど、屋外での撮影にも有効です。

蛍光灯などの影響を軽減する静止画のフリッカー低減機能【NEW】

動画撮影時のみの対応だったフリッカー低減を、静止画ファインダー撮影時にも使用できます。蛍光灯や水銀灯などの人工照明の明滅によるチラツキ（フリッカー現象）の影響で画像の一部が暗くなったり、連続撮影時に露出がバラついたりするのを軽減できます。

※：連続撮影速度が遅くなることがあります。



フリッカー検出時に、ファインダー内に「FLICKERアイコン」を表示可能（静止画撮影時）



シャッターがきれるタイミングが、フリッカーの影響で光源が暗くなった時に重なると、露出が暗くなる。



自動的に、「明」のピークでシャッターがきれるようにタイミングをずらす。



安定した露出と色再現が得られる。

さらに踏み込んだ作品づくりが可能な機能性を向上した多重露出【NEW】

最大10コマの画像を重ねて1つの画像として記録できます。合成モードは【加算】【加算平均】【比較明合成】【比較暗合成】を搭載。撮影途中で合成用の個別画像の確認や合成画像のプレビューが可能となり、静物の多重露出では表現意図により忠実な画づくりを行えます。プレビュー時には、直近の1コマを削除して撮り直すことも可能。合成画像とは別に、撮影した個別の画像を全画像保存できます。



【加算】

© Scott A. Woodward

> [拡大画像はこちら](#)



【比較暗合成】

© Scott A. Woodward

カメラが自動でシーンに適した画づくりを設定するピクチャーコントロール [オート] 【NEW】

静止画や動画を狙いどおりの映像表現に仕上げる、ニコン独自の画づくりシステム「ピクチャーコントロールシステム」を搭載。表現意図に応じてピクチャーコントロールを選んで撮るだけで、簡単に画づくりを楽しめます。ピクチャーコントロールには従来の7つに加え、より撮影シーンの特性を活かした作画ができる [オート] を新たに採用。カメラが「アドバンスドシーン認識システム」で得た高精度な被写体情報を基に、[スタンダード] をベースとして、色合いや階調をカメラが自動的に微調整します。

これにより人物撮影時には肌をより柔らかく、風景撮影時には青空や木々の緑を鮮やかに描写可能。連続撮影などで撮影した大量の画像も、統一感のある仕上がりになります。



[オート]

© Scott A. Woodward



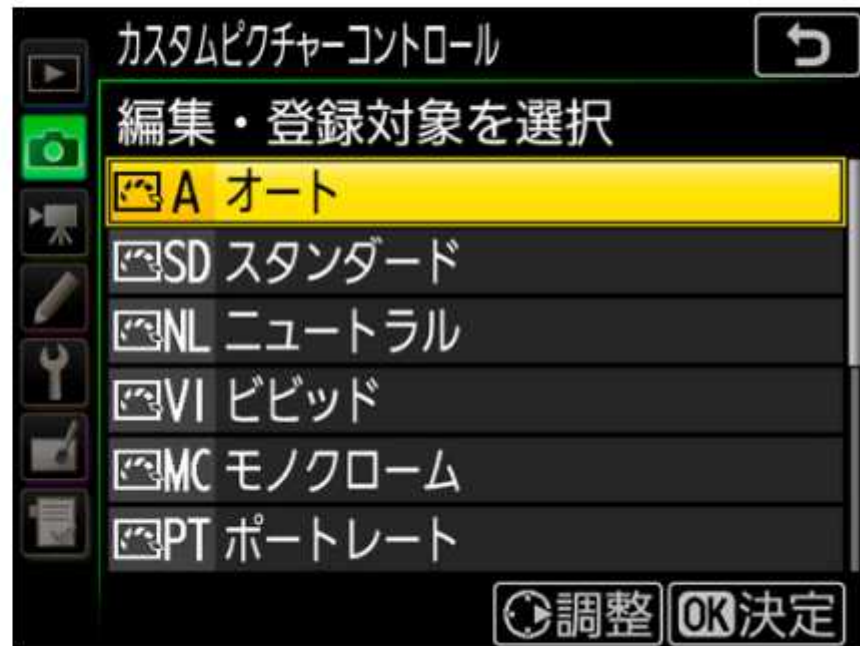
[スタンダード]

© Scott A. Woodward

＞ 拡大画像はこちら

自由度の高い画づくりが可能なカスタムピクチャーコントロール

カメラに搭載のピクチャーコントロールとは別に、自分の好みや用途に応じて調整したカスタムピクチャーコントロールをカメラに登録可能（9個まで）。カスタムピクチャーコントロールは、カメラに搭載のピクチャーコントロールをベースに、カメラ内で簡単に作成でき、SDメモリーカードに保存もできます。さらに、作成したカスタムピクチャーコントロールファイルは、メールに添付して友人等と共有することもできます。



デジタルならではの映像表現を簡単に実現するスペシャルエフェクトモード

特殊効果をつけた静止画や動画を撮影できます。極彩色やフォトイラスト、トイカメラ風など、10種類の効果を搭載。ライブビュー撮影ではその効果を確認してから撮影できるため、意図した表現をスピーディーに得られます。デジタル映像だからこそ楽しめるクリエイティブな表現が、作品の幅を広げます。



ミニチュア効果

- 動画撮影の場合は、早送り動画として記録されます。

10種類のスペシャルエフェクトモード

ナイトビジョン、極彩色、ポップ、フォトイラスト、トイカメラ風、ミニチュア効果、セレクトカラー、シルエット、ハイキー、ローキー

カメラが最適な設定を自動的に選択する16種類のシーンモード

撮りたいシーンに合わせてモードを選ぶと、カメラが最適な設定を自動的に選択して、美しい写真が撮れます。設定は撮影モードダイヤルをSCENEに合わせた後、メインコマンドダイヤルを回して変更できます。シーンに合わせて、簡単に美しく写せます。

16種類のシーンモード

ポートレート、風景、こどもスナップ、スポーツ、クローズアップ、夜景ポートレート、夜景、パーティー、海・雪、夕焼け、トワイライト、ペット、キャンドルライト、桜、紅葉、料理

パソコン専用の閲覧/現像/編集ソフトウェア NX Studio（無料ダウンロード）

静止画・動画の閲覧、RAW現像、編集を包括的にカバーするニコン純正のパソコン専用ソフトウェアです。使いやすさを追求したUIデザインにより、誰でも直感的に、スムーズな閲覧、効果的なRAW現像、編集が可能。画像表示をはじめ各機能のレスポンスも高く、静止画・動画を問わず快適に作業できます。

ニコンカメラやレンズの高性能を最大限に引き出し、イメージどおりに、よりレベルの高い映像表現を実現できます。

＞ 詳しくはこちら



4K UHD動画

より鮮鋭感の高い動画を撮影できる4K UHD (3840×2160) /30p対応【NEW】

4K UHD (3840×2160) /30pで、最長29分59秒※の動画を記録できます。高性能画像処理エンジンEXPEED 5とNIKKORレンズの優れた描写力により、細部まで鮮鋭な映像を撮影可能。ISO 100～51200、Hi 5 (ISO 1640000相当) までの広い感度域を確保しており、より多彩なシーンに対応します。動画記録ファイル形式は従来のMOVに加え、スマートフォンなどで再生しやすいMP4を新たに採用。音声記録方式は、AACにも対応しています。さらに、HDMIへの同時出力により、外部モニターへの表示や外部レコーダーへの非圧縮動画の記録も可能です。

※ 動画は最大8個のファイルに分割されて記録されます。各ファイルのファイルサイズは最大で4GBです。

● 動画のアスペクト比（横：縦）は、選択したフォーマットにかかわらず16：9となります。



HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

4K UHDに対応。カメラ内で自動生成できるタイムラプス動画【NEW】

時の経過とともに変化する雲や行き交う人の流れなどを、短時間に凝縮してドラマティックに表現します。4K UHDやフルHDのタイムラプス動画を、カメラ内で自動生成するため特別な編集作業は不要です。露出平滑化を設定すると、夕暮れ時など周囲の明るさが大きく変化する場合でも、絞り優先オートなどで自動的に前のコマとの露出差を抑制可能。コマ間の露出差から生まれる映像のチラツキを効果的に抑えて撮影できます。露出平滑化は、最大9999コマ撮影できるインターバルタイマー撮影にも適用できます。

手持ち撮影時のブレを軽減する電子手ブレ補正（フルHD、HD時）【NEW】

フルHDやHD動画撮影時には、手持ち撮影による映像のブレを電子手ブレ補正※で軽減できます。上下、左右、撮影レンズを中心とする回転の3方向の手ブレを補正。レジャーシーンや旅行先、三脚を使えないような場所でも動画撮影を楽しめます。さらに、NIKKORレンズの光学VR（手ブレ補正）機構を併用すれば、より効果的に手ブレを抑制できます。

※ [画像範囲設定] が [DX] の場合、画角が狭くなるため少し拡大されます。



動画撮影時にも適用できるアクティブD-ライティング（フルHD、HD時）【NEW】

高性能画像処理エンジンEXPEED 5の高速処理性能により、フルHDやHD動画にもアクティブD-ライティングを適用できます。輝度差の強い海辺や逆光シーンなどでも、白とびや黒つぶれを抑えながら適度なコントラストを維持でき、見た目に近い明るさで被写体の細部まで再現可能。撮影後に画像調整しなくても、撮影したままで、自然な明るさの階調豊かな映像を得られます。



アクティブD-ライティング [強め]



アクティブD-ライティング [しない]

撮影中でもボケを自由にコントロールできるパワー絞り【NEW】

動画撮影中に、被写体から目を離すことなく、スムーズに被写界深度を変更できます。**i**（アイ）ボタンから「マルチセクターによるパワー絞り※」を呼び出して「有効」に設定すると、マルチセクターで絞りを滑らかに制御可能。絞りの作動音も静かです。カスタムメニューでFn1ボタン、Fn2ボタンに「パワー絞り※」を割り当てることも可能です。

※：撮影モードAまたはMのときのみ作動します。内蔵マイク使用時は作動音が入る場合があります。別売の外部マイクの使用をおすすめします。

シャッタースピード・絞り固定で露出を自動制御できるMモード時の感度自動制御

暗い通路を抜けて明るい屋外へ出るような、明るさが急激に変化するシーンを1テイクで撮影する場合などに、露出モードM（マニュアル）で、シャッタースピードと絞りを固定して被写体のブレ具合と被写界深度を一定に保ちながら、感度だけで露出を自動制御できます。感度が高くなりすぎないように制御上限感度（ISO 200～Hi 5）の設定も可能です。

白とびしそうなハイライト領域を確認できるハイライト表示機能

ハイライト表示機能を使えば、動画撮影時に、白とびしそうなハイライト領域（RGB）を画像モニター上に斜線表示させて確認できます。赤色（R）、緑色（G）、青色（B）各色のハイライト部分をそれぞれ表示することも可能。「ハイライト表示」は、動画撮影中でも**i**（アイ）ボタンを使ってすばやく設定変更できます。



動画撮影のワークフローを効率化する動画専用メニュー

「動画撮影メニュー」を、独立したメニューとして配置。ホワイトバランスやピクチャーコントロール、アクティブD-ライティング、フリッカー低減などについて、静止画とは異なる内容を動画専用に設定できるので、静止画と動画を交互に撮影する場合にも、設定し直す必要がありません。また、動画ライブビュー時や動画撮影時に $\mathcal{I}$ （アイ）ボタンを押すと、関連機能の設定にすばやくアクセスできます。



臨場感あふれる音声収録ができる充実したサウンドコントロール

D7500は、ステレオマイクを内蔵。別売のワイヤレスマイクロホン ME-W1、ステレオマイクロホン ME-1に対応しています。マイク感度（20段階）は音声レベルインジケーターで視覚的に確認しながら、動画撮影中でも調整可能。また、市販のステレオヘッドホンで音声のモニターも可能です。さらに、街のざわめきなど幅広いシーンに適した「広帯域」と、主に人の声を録音したいときに適した「音声帯域」が選べる「録音帯域」の設定が可能です。内蔵マイク使用時には「風切り音低減」も設定できます。

＞ ワイヤレスマイクロホン ME-W1はこちら

＞ ステレオマイクロホン ME-1はこちら



ワイヤレスマイクロホン ME-W1（別売）



ステレオマイクロホン ME-1（別売）装着時



動画やライブビュー映像を外部機器に同時記録。HDMI出力対応

インターフェースにはHDMIミニ端子（Type C）を採用。映像をカメラの画像モニターと外部モニターに同時に表示できます。動画撮影や動画ライブビュー時に背面画像モニターに表示される設定情報をHDMI出力先に表示しないようにすれば、カメラが捉えている映像全体を、大画面のHDMI出力機器ですみずみまでリアルタイムで確認できます。また、動画ライブビューの映像を非圧縮のままHDMI入力ビデオレコーダーに直接記録することも可能。出力先の機器で、圧縮による劣化のない高画質な映像を編集できます。



システム性能

フラッシュ撮影の可能性を拡大するニコンクリエイティブライティングシステム

D7500はニコンクリエイティブライティングシステムの多彩な機能に対応しています。調光精度をさらに高めたi-TTL調光や複数のリモートフラッシュをワイヤレスで制御できるアドバンスドワイヤレスライティングが可能。最高速までのシャッタースピードに同調させてフラッシュ撮影するオートFPハイスピードシンクロにより、強い日差しの中で被写体の速い動きを捉えたり、逆光時に開放絞りで人物の背景をぼかしたりも可能です。屋内外や光の状況を問わず、表現意図に応じて被写体をドラマティックに演出できます。

■ スピードライトSB-5000（別売）

ニコンスピードライトで初めて電波による制御に対応。ワイヤレス増灯撮影時のリモートフラッシュとしてSB-5000を用いると、これまでの光制御に比べて障害物や周囲の明るさの影響を受けにくい、より自由度の高い照明ができます（電波制御でのリモートフラッシュ※1）。また、連続発光時の発光パネルの過熱を抑制する「クーリングシステム」を新たに採用。ガイドナンバー41※2と大光量ながら、冷却時間をはさむことなく、従来以上の連続発光が可能です。

※1 別売のワイヤレスリモートコントローラー WR-R10が必要です。ファームウェアを最新バージョンにアップデートしてお使いください。

※2 ISO 100・m、照射角35mm、DXフォーマット、スタンダード配光時。

＞ 詳しくはこちら



スピードライトSB-5000（別売）

光制御との併用を可能にした電波制御でのリモートフラッシュ【NEW】

D7500に装着したワイヤレスリモートコントローラー WR-R10（別売）を介して、電波制御による多灯ワイヤレスライティングが可能です。最大3グループまでのスピードライト SB-5000（別売）が電波制御できます。物かげや遠くに設置したSB-5000の制御はもちろん、周囲が明る過ぎて従来の光制御では光が届きにくい状況にも対応できます（通信距離は約30m）。さらに、光制御と電波制御を併用すれば、最大5グループでのリモートフラッシュが可能。簡単なライティングから高度なライティングにまで対応する自由度の高い増灯システムで、静止画や動画の作品性を高めることができます。

＞ ワイヤレスリモートコントローラー WR-R10はこちら

＞ スピードライトSB-5000はこちら



左：ワイヤレスリモートコントローラー WR-R10（別売）を装着時

右：スピードライトSB-5000（別売）



電波制御でのリモートフラッシュで撮影

© Scott A. Woodward



樹木の後ろに設置したスピードライトSB-5000（別売）を、電波制御でワイヤレス発光

あなたの映像を、世界につなげよう「SnapBridge」【NEW】

カメラとスマートフォン/タブレット端末をシームレスにつなぐアプリケーション「SnapBridge」に対応。一度設定するだけでカメラとスマートフォンがBluetooth®で常時接続。スマートフォンがバッグに入っている間、カメラのシャッターをきるたびに撮った写真を自動転送してくれるので、お気に入りのSNSやメールからすぐに家族や友達へシェアして楽しめます。



SnapBridge



接続設定は
最初の1回でOK！
あとは自動でつながる！

 **Bluetooth®**



カメラで撮った
画像を自動転送！
すぐにシェア！



Wi-Fiで直接接続【NEW】

本体のファームウェアを最新にすることで、SnapBridge Ver.2.5以降のアプリがインストールされたスマートフォン/タブレット端末に、従来のBluetooth®でのペアリングなしに内蔵Wi-Fiで直接接続が可能になり、オリジナル画像（RAW/JPEG）の高速転送、カメラのリモート操作が可能です。

● Wi-Fi接続時、カメラで撮影した画像の自動転送、日時情報の同期、位置情報の同期、Nikon IDアカウントの作成、ニックネーム機能は使用できません。

撮影画像を自動転送

カメラで撮影したJPEGサムネイル画像（200万画素）をスマートフォン/タブレット端末へ自動転送※できます。元画像や動画といった通信データ量が多いものは、カメラ側のWi-Fi機能を利用することで手動で選択して画像取り込みができます。

※ 元画像及び動画は自動転送に非対応。



スマートフォンを見ながらリモート撮影

スマートフォン/タブレット端末をリモコンがわりに簡単に「リモート撮影」することができます。家族の集合写真や、雄大な風景をバックに自分を撮りたいときなどに便利です。シャッターを切る前に構図などをスマートフォンの画面で確認して撮影できます。撮影モード（P/S/A/M）、シャッタースピード、絞り値、露出補正、ISO感度、ホワイトバランスの設定をアプリ側から行えます。



画像の転送からクラウド保存まで、すべて自動保存

JPEGサムネイル画像（200万画素）なら、スマートフォン/タブレット端末から無制限でNIKON IMAGE SPACEに自動アップロードが可能です。画像の転送からクラウド保存まで、すべて自動でできます。

※ SnapBridgeからのアップロードに限り、サムネイル画像のアップロードは、枚数・容量ともに無制限。JPEG元画像は20GBの制限適用となります。
また、ご利用にあたりましては、Nikon IDの登録が必要です。



日時/位置情報の自動同期

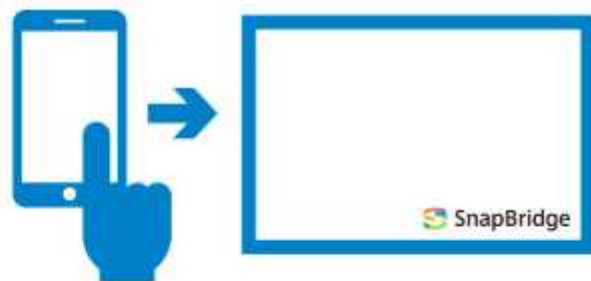
スマートフォン/タブレット端末の日時・位置情報にカメラが自動的に同期。海外でも日時設定変更なしでそのまま撮影できます。また位置情報は3段階の精度選択が可能で、電池消耗のコントロールに加え、ニーズに合わせた位置情報の記録ができます。

※ 高（精度優先）：約10～20mごと、中：約100mごと、低（省電力優先）：約300m～500mごとに位置情報を取得。OS仕様により位置情報を取得する間隔が異なりますので参考値としてご覧ください。



情報の付加

著作権情報/画像コメント/撮影情報/任意文字/SnapBridgeロゴから、1種類のクレジットを画像に追加できます。クレジットを追加して、すぐにネット公開できます。



ファームウェア更新案内

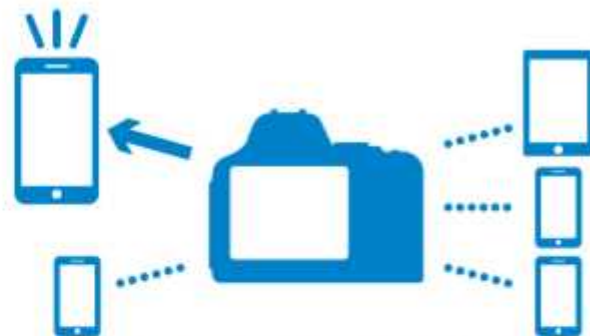
カメラのファームウェアアップデートのお知らせが届くので、忘れがちなファームの更新も安心です。



カメラとスマートフォンの登録と簡単切替

カメラ1台に対して、5台までのスマートフォン/タブレット端末の登録と、1台のスマートフォン/タブレット端末から5台までのカメラの登録が可能で切替も簡単に行えます。スマートフォン/タブレット端末の切り替えはカメラ側から、カメラの切り替えはスマートフォン/タブレット端末から行えます。

※ 同時接続はカメラ1台に対してスマートフォン/タブレット端末が1台になります。



使いたいスマートデバイスに、
カンタン切り替え



使いたいカメラに、カンタン切り替え